

○「三根中学校校歌」について～全校集会(H28.5/17)

4月の全校集会では、三根中学校の歴史について話をしましたが、5月の全校集会では三根中学校の校歌について話をしました。

三根中学校は、昭和38年4月に三根東中と三根西中が統合して誕生しましたが、校歌は昭和42年12月21日に制定されました。作詞は西念寺の住職であられた藤吉慈海先生(浄土宗では有名な方)です。慈海先生は西念寺で幼少期を過ごされ、旧制三養基中、佐高、京都大学へ進まれ、日本宗教界の代表として国際会議でも活躍された方で、インターネットで検索するとたくさんの著書が紹介されています。

校歌で歌われている「白い鳥」や「蘆花」は下村湖人先生の『次郎物語』に由来します。小説の中では「白鳥入蘆花(はくちょうろかにいる)」という言葉が出てきます。もともと「白馬入蘆花」という言葉があり、その意味は、人それぞれに個性があり、それを大事にするという意味があるそうです。下村湖人先生は白馬を白鳥に代え、次のような意味をもたせてあると言われています。それは、**白い蘆(あし)の花の中に白鳥が舞い込み、白鳥の姿は見えなくなるが、その羽ばたきで起きる花の波紋は無限に広がるということから、本当に善い行いとは、心を込めて人のためになることをすることであり、その善い行いの輪が自然と他の人へと広がり、すばらしい世の中になるという意味**で、下村湖人の生き方そのものだそうです。

慈海先生は、三根のこどもたち一人一人が白鳥となり、それぞれの組織や社会に尽くしていくことを願われたのではないかと思います。また、「うまし 我が故郷」というのは、広辞苑で調べてみると「美しいわが故郷」という意味があるようです。

校歌は、昭和42年に制定され、校歌発表会や歌碑除幕式が開かれました。現在この歌碑は、校舎新築工事で校門横に移されています。石碑の裏には、新制中学20周年(昭和22年の三川中と南茂安中の開校から数えて)記念として山本平四郎氏寄贈により昭和42年12月建立と記されています。また、校舎正面玄関入口に掲示されている校歌銅板は、平成5年に藤吉慈海先生がご逝去された際にご遺族の方より学校に寄贈していただいたもので、昨年夏に校内で一番目立つ場所に掲示しました。

<p style="text-align: center;">↓ 三根中学校校歌 ↓</p> <p style="text-align: center;">③</p> <p style="text-align: center;">②</p> <p style="text-align: center;">①</p>	<h2 style="text-align: center;">藤吉慈海先生</h2> <p style="text-align: center;">大正4年(1915年生)～平成5年(1993)</p> <p style="text-align: center;">西念寺住職(第23世) 浄土宗</p>  <p>佐賀出身 京都大学卒業 花園大学名誉教授 浄土宗仏教界有名 著書多数</p>	<p style="text-align: center;">②</p> <p style="text-align: center;">うまし わが故郷 美し=美しい</p>
<h2 style="text-align: center;">白鳥蘆花に入る</h2>  <p>白いあしの花の中に白鳥が舞い込み、白鳥の姿は見えなくなるが、その羽ばたきで起きる花の波紋は無限に広がる = 湖人の生き方 本当に善い行いとは、心を込めて人のためになることをすること→他の人も気づき、善い行いの輪が広がり、すばらしい世の中になるという意</p>	<p style="text-align: center;">歌碑除幕式</p>  <p style="text-align: center;">校歌発表会</p>  <p>歌碑寄贈者 (山本平四郎氏) 藤吉慈海先生</p>	<p style="text-align: center;">③</p> <p style="text-align: center;">白鳥 蘆花に入る 下村湖人 『次郎物語』</p>  <p style="text-align: center;">校舎玄関の銅版</p> 